

引っ掛かり事故防止を目指した子どもの基礎的身体情報の整備

グンゼ株式会社

プロジェクトの背景と目的

子どもの引っかかり事故防止のためには、
衣服サイズの適切な設計が必要

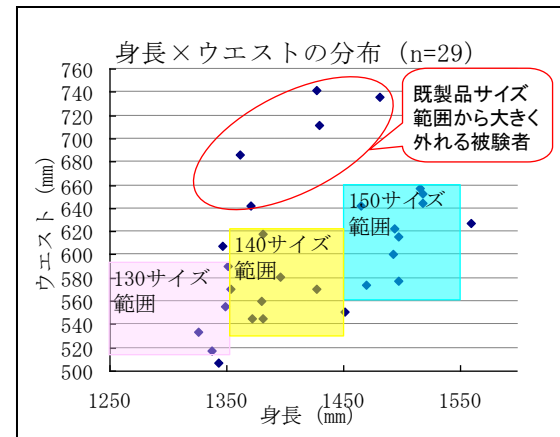
子どもの身体的特徴を示す基礎データが
整備されていない

子どもの身体データの蓄積と現状把握が必要

結果

■7割以上の被験者が、体形に適さないサイズの衣服を着用していることが分かった。

■サイズが適していない被験者は、身長に比べウエストが大きい傾向があり、周長に合わせて衣服を選んだ結果、「丈が長い」という状況が起こっていることが推察された。



実施方法

10～12歳の男子14名、女子15名を対象に、以下の計測を実施

- 三次元形状データの撮影
- 身体寸法および体組成データの測定
- アンケート調査による衣服の日常着用サイズと適正サイズの検証



三次元形状データの測定



身体寸法測定



体組成データの測定

今後の展望・展開

既製品のカバー範囲から外れる体形の子ども
に対応したサイズ設計を検討する

- 子どもの体形データの蓄積を増やし、データベースを構築する。
- 三次元形状データを活用し、立体的なボディに対応したパターン設計を検討する。

